

パラオ共和国供与の巡視船「KEDAM」出港

～ミクロネシア3国の海上保安能力強化支援プロジェクト～

日本財団および笹川平和財団の支援のもと、パラオ共和国に供与される40メートル型巡視船「KEDAM（ケダム）」が全ての艀装を終え、12月8日に広島県呉市の警固屋船渠からパラオ共和国に向けて出港した。



広島県呉市の警固屋船渠から出港する40メートル型巡視船「KEDAM」

9月18日に進水式を終えた本船は、パラオ共和国のTommy E.Remengesau,jr（トミー・レメンゲサウ）大統領から「K E D A M（現地語でパラオに生息する軍艦鳥の意）」と命名された後、パラオ共和国の広大なEEZ内のパトロールおよび海難救助に必要な設備などの艀装を行ってきたが、これらすべての艀装が終了し、12月7日に日本財団、笹川平和財団および日本海難防止協会を代表して当協会の大久保安広・専務理事が船体設備および必要書類などの最終確認を行い、巡視船「K E D A M」の出港準備がすべて整った。



最終確認書類にサインをする大久保専務

12月8日に警固屋船渠本社工場の第一栈橋で行われた出港式には、Francis Matsutaro（フランス・マツタロウ）駐日パラオ大使をはじめ、水産エンジニアリング株式会社の渡辺豊徳・顧問、警固屋船渠株式会社の久留島匡繕・代表取締役社長、笹川平和財団の村上強志・特任グループ長、および当協会の大久保安広・専務理事、ニッポンマリタイムセンターの浅井俊隆・所長ら関係者約30人が参加。

式典では、巡視船「KEDAM」のCaptain Mr. Mayce Ngirmeriil（メイス・ニルメリール）に警固屋船渠株式会社の久留島社長から花束が贈呈された後、日本財団グループを代表して当協会の大久保専務が、パラオ共和国を代表してマツタロウ駐日大使がそれぞれ訓示を行った。

この訓示で当協会の大久保専務は「本日の関係出席者は KEDAM の出港式ができることをとてもよろこんでいる。この KEDAM はパトロールや海難救助に必要な最新設備を備えており、パラオ共和国の海上保安能力をより一層高めるものと信じている。この KEDAM の活躍により安全できれいな海が将来に継承されることを望んでいる。この船にとってチャレンジングな長期航海であり、いろいろな問題にも直面すると思うが、この貴重な体験を通じて専門的な知識と自信を身に付け、パラオ共和国に無事に到着することをお祈りする」と KEDAM の活躍と航海の安全を祈念した。

この後、KEDAM に掲げられていた日本国国旗を降ろし、パラオ共和国国旗を掲揚してクルーが乗船、出港準備を整えゆっくりと離岸しパラオ共和国へ向けて出港していった。

なお、巡視船「KEDAM」は補給などをしながら順調に航海ができれば12月16日にパラオ共和国に到着の予定となっている。



出港式に参加した参加者（手前側）と KEDAM のクルー（本船側）



花束贈呈：久留島社長（左）
Captain Mr. Mayce Ngirmeriil



訓示：日本海難防止協会の大久保専務（左）
マツタロウ駐日大使（右）



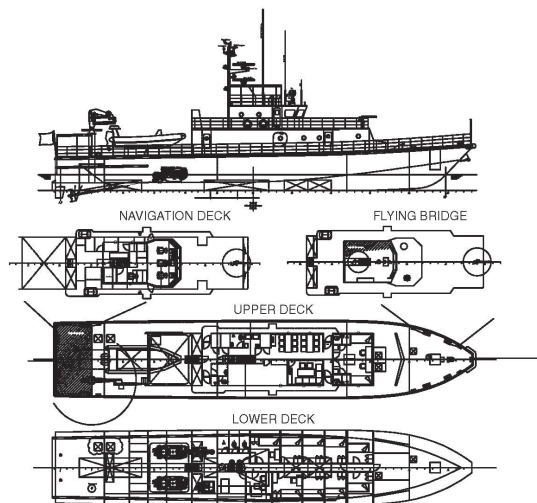
出港前に式典参加者とクルーで記念撮影

40 m Patrol Vessel **PSS KEDAM**



PRINCIPAL PARTICULARS

Length overall	40.00 m	Navigation Aids	Rader, AIS, Echor sounder
Breadth	7.20 m		Wind meter, Magnetic compass
Depth	3.50 m		Gyro compass, Nav Net
Gross Tonnage	257		Satelite compass, GPS
Main Engine	1,790 kw × 2		Doppler speed log
Diesel Generator	48 kw × 2	Radio Equipment	MF/HF Radio, VHF Radio,
Speed max.	over 25 knots		EPIRB, Inmarsat C,
Operation days	10 days		Inmarsat FB, Weather FAX
Fuel Oil Tank	32 m ³	Deck Machinery	Rader transponder
Fresh Water Tank	7 m ³		
Complement	21 crew		
SeaBoat 7.3mL 150HP × 2	1 boat		Windlass, Mooring capstan
			Steering gear, Deck crane



KEDAM の設備などの概要



本プロジェクトでの建造を示す船内のプレート



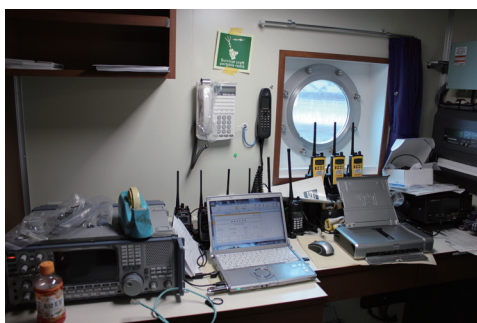
アッパーデッキでも操船が可能に



船橋に設置された操船機器



エンジンルーム



船橋後部側に設置されている各種通信機器



クルー用の居室



KEDAM に搭載されている小型艇



長期航海に備え調理室に大型冷蔵庫も設置